

会議録（要点筆記）

会議名	平成 27 年度 第 4 回みやま市まち・ひと・しごと創生会議
開催日時	平成 27 年 9 月 1 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 15 分
開催場所	みやま市役所 大会議室
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 第 3 回創生会議録について ② 市民アンケート調査結果について (2) 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 人口ビジョン（素案）について ② 総合戦略（素案）について 3 その他 4 次回の開催について 5 閉会
委員出席者	牛嶋委員、金子委員、岩切委員、内田委員、相澤委員、江藤委員、林田委員、塚原委員、松浦委員、大賀委員、大城委員、森田委員、松藤委員、末吉委員、瀬口委員、宮本委員
欠席者	廣井委員、今村委員
事務局	塚野総務部長、坂田企画財政課長、山田企画財政課長補佐、長岡
傍聴者数	2 名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 第 3 回みやま市まち・ひと・しごと創生会議 会議録 ・資料 2 市民アンケート調査結果報告書 ・資料 3 「みやま市人口ビジョン」及び「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（素案）

1. 開会

<坂田企画財政課長より開会>

2. 議事

(1) 報告事項

【会 長】 報告事項について事務局より説明をお願いします。

【事務局】 市民アンケート調査結果報告書については前回会議を受け、追加した箇所を中心に説明する。

<事務局より、以下の説明>

「資料1」: 第3回みやま市まち・ひと・しごと創生会議会議録

「資料2」: 市民アンケート調査結果報告書

(追加箇所: 9、11、14、34、39、49、52、75、76、89、92 ページ)

【会 長】 何か質問・意見はないか。

【会 長】 39 ページの「安全で安心して暮らしていると思うか」という質問の地区別結果について、飯江と竹海の結果が良くない。何か原因がわかれば付記いただきたいと思う。

【会 長】 他に質問・意見はないか。

<質問・意見なし>

(2) 協議事項

【会 長】 協議事項について事務局から説明をお願いします。

<事務局より、以下の説明>

「資料3」: 「みやま市人口ビジョン」及び

「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(素案)

【会 長】 何か質問・意見はないか。

- 【委員】 70ページのトップアスリートの件について、なかなか難しいという説明があったが、どういう点が難しいのか。
- 【事務局】 市単独で指導者の確保することが難しい点と、タレントを見出す手段が市では持ち合わせていないという点である。そのため、県と連携するという形をとらせていただきたい。
- 【委員】 県と連携するという事は、県が主導権を握るということか。
- 【事務局】 はい。県にお願いするという形を考えている。
- 【委員】 県が主導権をとって進めていくということではみやま市のまちづくりとしては弱いのではないか。みやま市独自の取組みで進めていく方針をとっていかないといけないのではないか。
- 【委員】 質問するが、現在県が行っているタレント養成講座と連携するということか。
- 【事務局】 はい。
- 【委員】 そういうことになると、みやま市の方から県の開催場所に出向いて行かないといけない。みやま市独自の考え方ができなくなると思われるが。
- 【委員】 はい。他の市町村と同じ扱いになると思う。
- 【事務局】 お示ししているとおり、トップアスリートの育成をしてスポーツに主体的に参加する機運が市内で高まっていくと思っているが、市単独でできる具体的案は持ち合わせていない。具体的案を今後検討していくということで項目を残していきたい。
- 【委員】 現在行われている県の取組みに便乗するという事ではみやま市のまちづくりとしては文言が弱いと思うので、そのあたりを考慮して文言を載せていただきたい。
- 【事務局】 市単独でできることを再度検討させていただき、県との連携と併せて市独自の取組みを盛り込むということで次回お示ししたい。

- 【委員】 60、61 ページの子育て支援についてだが、アンケート調査結果の71 ページでは、理想の子どもの数より実際の子どもの数が少ない理由として、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」という結果が圧倒的に多い。前回いただいた資料によると、子どもが2歳ごろになったら働きたいという回答が多い。そこで、例えばみやま市内で就職の斡旋のようなものが市主導でできないか。実際に会社を営んでいるが、雇用側と労働者側との情報が十分でなく、ギャップが見られる。ミスマッチが多く、さらに人材を募集しても応募が来ない。みやま市内でうまくマッチングができれば、「お金がかかりすぎる」ということに対して、経済的に支援になるのではないかと。また、すでに保育料の負担軽減はされていると思うが、さらに保育料の支援をすることで、直接的な経済支援になるのではないかと。
- 【事務局】 子育て世帯の経済的負担の軽減ということであるが、59、60 ページあたりに医療費の助成や保育料の軽減等の施策を掲載している。また、女性の就労支援については、51 ページに目標値を掲げているように女性の就業率向上を目指し、「産業における『稼ぐ力』の向上」や「企業誘致」、「就業・就職の支援」に取り組み、就労支援を行い、働く女性が増えないかと考えている。
- 【委員】 それに関連して。女性就業率を上げるということで目標を掲げているが、特に子育て中の女性が就業できるような特化した独自の施策が必要ではないか。目標に対する具体的な施策が挙げられていない。
- 【事務局】 ご指摘のとおり、子育て中の女性に特化した施策を挙げる事ができていない。次回までに子育て中の女性に特化したような就労支援を考えさせていただきたい。
- 【委員】 みやま市を取り巻く環境の中で大きな問題は、財政基盤の脆弱化と人口減少と思われる。その中で各論的にいろいろな施策を挙げているが、施策を実施する上で予算が伴う。どれくらいかかるのか展望を持っていた方がいいのではないかと。可能であれば次回お示ししたい。
- 【事務局】 現時点では試算できていない。財源の配分はこれらを検討していく。
- 【委員】 48 ページにみやま柳川インター周辺に企業団地を造成するとあるが、現時点で企業団地はあるのか。

- 【事務局】 ない。
- 【委員】 文言としては良いと思うが、都市計画などの制約があるので、具体性はあるのか。
- 【事務局】 みやま柳川インター周辺はほぼ農用地であり、土地規制は非常に厳しい。しかし、進出する企業を先に決めてしまえば農振除外になる可能性があるため、その方向で進めていきたいと考えている。
- 【委員】 それであれば現在の文言は適正ではないと思う。文言を変えないのであればそれでも構わないが。それと、49ページの通勤定期利用支援金の目標値が低すぎるのではないかと。また、補助金額については、3万円ぐらいに引き上げていいのではないかと。
- 【事務局】 筑後市でも同様の制度があり、申請件数が少ないと聞いている。それを考慮して設定した目標値であるが、ご指摘のとおり再度目標値を考え直したい。それと、補助金額を引き上げる件については、予算を伴う話であり、始めたばかりの制度であるため、しばらく様子を見させていただきたい。
- 【委員】 50ページに宿泊客の目標値を1万人と掲げており、かなり困難な数字ではないかと。また、ホテル誘致をするということで施策も挙げているが、かなりの費用がかかると思われる。
- 【事務局】 これについては、ホテルの誘致をもって実現したいと考えている。
- 【委員】 52ページのみやまスマートエネルギーの電力売上額についての表記があるが、利益率はどうか考えているか。
- 【事務局】 正確な数字は持ち合わせていないが、2割程度を想定している。
- 【委員】 53ページのシティプロモーションとはどういうものか。
- 【事務局】 市のPR事業を総合的に実施するもの。例えば、キャッチコピーを付けたり、イメージカラーを統一したりするもの。次回、脚注を入れる。

- 【委員】 54 ページのアンテナショップの設置について、「イメージづくり」とあるが、どういった意味か。
- 【事務局】 農水産物・特産品によるイメージづくりである。農水産物・特産品が市のイメージづくりに貢献するのではないかと考えている。
- 【委員】 66 ページの中心市街地について、二川地区は歩いて買い物ができるような中心市街地がないと思われるが、そもそも中心市街地がないところで活性化ができるのか。
- 【事務局】 ここに掲げている施策については、既存の中心市街地の活性化を想定している。二川地区については、JR 渡瀬駅周辺の整備も計画しており、新しく賑わいの創出ができるのではないかと想定している。また、二川地区は人口の集中地区でもあるので、目標値には下庄地区と併せて二川地区も挙げている。高田拠点地区活性化検討委員会の提言も考慮して入れている。
- 【委員】 66 ページでは、下庄地区、二川地区しか挙げられていない。現在国道 443 号線のバイパスが整備中であり、既存の国道 443 号線に歩道を作り歩いて買い物ができるような考え方が将来あるが、そういう意味で、山川地区も入れないといけないのではないか。それと、50 ページに鉱泉を活かした施設整備と書いているが、鉱泉湧出量についてはまだ調査段階であるので、今の段階では十分湧出量がないと聞く。活かせるという判断のもと表記しているのか。
- 【事務局】 現在の国道 443 号線の歩道整備による活性化について、ご指摘のとおり、山川地区を中心市街地に含めるという方向で次回提案したい。それと、鉱泉を活かした施設整備については、ホテル誘致の事業と関連しているので、併せて推進したい。
- 【委員】 湧出量は十分なのか。
- 【事務局】 湧出量は多くはないが、高濃度の鉱泉が出ることがわかっているので、ホテル誘致の事業と併せて推進したいと考えている。
- 【委員】 48 ページの新規就農者支援に関してお尋ねしたい。みやま市内の農家で外国人の研修制度を利用している人はいるのか。また、行政としての就農者支援とは具体的にどのようなことを想定しているのか。

か。

【事務局】 外国人の就農者はおそらくいないと思われる。市としてどのような支援を考えているかについては、既存の国庫補助事業で年間150万円を給付する事業がある。それに合わせて、市単独で何かできないかと考えている。

【委員】 情報提供だが、当院ではベトナムの方から2名採用している。今後、インドネシアなども含めて徐々に数を増やしていく必要があると思っている。介護職員の確保が全国的に難しくなっている状況なので、試験的に今年から始めている。

【委員】 72ページの学校跡地利用について、市として具体的に構想はあるのか。

【事務局】 統廃合により、来年4月に3つの小学校が廃校になる。現在、地元の方々のご意見をお聞きするという事で委員会を立ち上げて協議をしているところである。また、バイオマスセンターを山川南部小のグラウンドに整備する方向で計画している。その他は、保育園の移転も進めていくということも挙がっているが、現在協議中である。

【委員】 5年後の目標を設定しているが、PDCAサイクルの観点から、中間目標を設定し、検証すべきではないか。

【事務局】 75ページに、点検・検証について少し記載している。現時点で中間目標をお示しできるまでには至っておらず、時間的な制約もあるので、中間目標の設定が難しい。まず、総合戦略を策定して、その次の段階の検証の際に、ご指摘のご意見を反映させる方向で考えさせていただきたい。

【委員】 検証はするべきと思う。5年という期間は長すぎるので、忘れられる恐れがある。

【事務局】 この戦略の進捗状況などの点検は、毎年お願いすることになると思っている。ただ、現時点で2年後、3年後の中間目標を掲げることは難しい。点検・検証の際に数値は随時報告したいと考えている。

- 【委員】 62 ページについて、全国学力テストの基準値が小学校と中学校を比べると中学校では下がっている。これには原因があると思う。具体的な施策に「少人数対応教育」「特別支援教育」が挙げられているが、もう一つ問題があるのではないか。教育委員会と協議し検討をしていただきたい。
- 【事務局】 検討させていただく。
- 【委員】 中高一貫校への進学する子どもが多い。なぜ中高一貫校へ行くのかという意見は参考になるのではないか。今後も増えていくと考えられるので、原因を究明しておく必要があると思う。
- 【事務局】 持ち帰り、次回お答えする。
- 【委員】 58 ページについて、目標値の「県内平均寿命ランキング」が、項目の「地元大学の活性化」と合っていないのではないか。あとのページに、健康寿命の表記が出てきており、別の箇所に出てくることに違和感がある。
- 【事務局】 施策にあった指標を設定するということで考え直したい。
- 【委員】 アンケートでの目標値が出てくるが、具体的な数値目標を設定できるところはそうした方がいいのではないか。
- 【事務局】 アンケートの割合を指標としているところは、できるだけ変える方向で検討したい。K P I を追加することも考えている。
- 【委員】 66 ページの「下庄・二川地域の人口」の目標値や 67 ページの乗降客数の目標値など、基準値よりも目標値の方が低くなっていることに違和感がある。例えば、減少率で表すような目標の立て方はどうか。
- 【事務局】 人口減少を加味すると、マイナス目標もやむを得ないと思っているが、現状維持を目指せるようなやり方で再検討させていただきたい。
- 【委員】 70 ページに筑後広域公園の記述をしていただいているが、ソフトバンクホークスやオリンピックという限定されたもの箇所に記述されているので、当公園をもっと市民の方に親しんでいただけるよう

に、「スポーツ活動の充実と交流の推進」や「健康まちづくり事業」の中に記述していただければと思う。

【事務局】 筑後広域公園の記述を、「スポーツ活動の充実と交流の推進」や「健康まちづくり事業」にも盛り込ませていただく。

【会長】 指標に関して、施策ごとに指標や目標を定めているのではなく、施策を総合的に判断したものを指標や目標として設定しているのも、それでは施策の効果がわかりづらい。理想としては、それぞれの施策に対応するようなKPIを設定することが基本になるのではないかと思う。例えば、54ページの道の駅についての記述では、具体的な施策で情報発信機能強化を挙げているが、目標値は売上や購入者数を設定しており、ずれがあるように感じる。可能な範囲で検討いただければと思う。

【委員】 子育て支援の記述に関して、子どもの視点からの施策として、公園の整備や遊ぶ場所の確保をお願いしたい。

【事務局】 アンケートにもあったので、遊ぶ場所の確保という項目を設けさせていたいただきたい。

【会長】 他に質問・意見はないか。

＜質問・意見なし＞

【会長】 では、本日の議事についてはこれで終了する。

【事務局】 KPIの設定については、内部協議を重ねて、次回お示しをさせていただきます。

3. その他

＜特になし＞

4. 次回の開催について

みやま市まち・ひと・しごと創生会議 第5回会議

開催日 平成27年9月29日(火) 13時30分から

会場 みやま市役所本庁 4階 中会議室

(午後3時15分 閉会)